

# あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター  
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1  
愛知県東大手庁舎 1階  
TEL：052-954-6722  
FAX：052-954-6993  
開館：月～金 10～17時



## ふるさと大交流会 in あいち

2月25日(土)アイリス愛知(名古屋市)にて、交流会が開かれ、137名(57世帯)の方が参加されました。また、参加者の方々を支えていきたいという気持ちを持った79名の支援者が集まりました。

交流会の中では、参加者自らが、畑仕事や日曜大工、自分たちで交流の機会をつくっていく会などへの参加を呼びかけられました。1年近くになる避難生活の不安とこれからの生きがいの部分を分かち合える場となりました。

この交流会は、当日参加される予定の何人かの方々と、支援者の方々とのお話し合いや相談を経て、共に創りあげてきました。

参加者同士、参加者と支援者が共に協力しながら、これからの生活課題を克服・支援し合える、そうしたそれぞれの垣根を越えた関係を築きながら、これからもみんなと一緒に頑張っていきたくていきたいと思います。

### ■ 参加者から頂いた感想(一部抜粋)

- 初めて交流会に参加して、同じような境遇の方達とお話することができて良かったです。周囲には全く知り合いもなく、震災のことを誰かに話すことがなく、誰かに聞いて欲しい思いもどこかにありました。少しでも共感し合え、気持ちが軽くなった思いです。
- 今日は、2回目の交流会でした。前回、お会いした方がおぼえてくださって、またお話しできて、うれしかったです。ストレス発散にもなりました。
- 先の事は考えず、今に集中して、もう少し名古屋でがんばろうと思いました。
- 今まで何度か交流会に参加させていただいています。本当にありがたく思います。日を経過して、参加されている方々の笑顔が増えてきたように感じます。こちらに永住を決意さ



れた方、仕事をはじめた方、農業をはじめた方、学校に通う子供たち、みな新しい道を選び歩みはじめたからではと思います。

私自身は早い段階で仕事をはじめることができましたが、どこか心の中では故郷を離れた負い目のようなものもありました。先日、帰省した時に友人から「いわきを去ると聞いた時は、『行かないでくれ!』と思ったが、今はいつかいわきに戻る時、今度は愛知の人たちから、『いわきに帰らないでくれ!』といわれるようにがんばってくれ!』と励まされました。私自身、明るい笑顔で日々がんばれるよう歩んでいきたいです。

- 交流会で、思いをお互いに話す等はかなり出来るようになってきたと思います。これからは、2者面談のように、場をもって、人にはなかなか言えない、言っても仕方ない等、本音をじっくりと話せる機会があると良いと思います。特に、福島県外の方は、ひめている思いが沢山あると思います。今の状況、これからどうしようと考えているか、自分から話した事が出る人は少ないと思います。これから、本当に何が必要な支援なのか、わかるきっかけにさせていただけたらと思います。

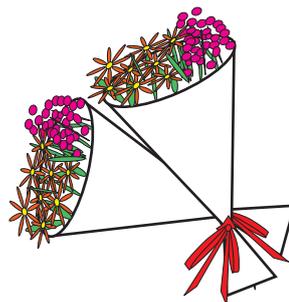
(2ページへ続く)

(1ページより続き)

- こんなに、あたたかい、心のこもった会を開いて頂き、本当にありがとうございました。子供を守る為、又、がんばっていく力をもらうことが出来ました。子供が幼稚園に行っている日中等、私にも出来るお手伝いがありましたら、お声をかけて下さい。
- 私は今一人で住んでいるので、今回も参加しようか悩んでいたのですが、(みなさん、ご

家族で来られているので)でも、思い切って来て見てよかったです。一人でこもりがちになっていましたが、色々な方と話すことができて、気分転換になりました。知事ともお会いできてうれしかったです。なかなか友達ができませんが、少しずつ色々な方と話してつながりを作っていけたらいいなと思います。今後も何回もこういう会を開いてほしいです。

- 交流会は何回か参加させていただいていますがその度に思うのは交流がもてる他にも、色々な、ここでしか手に入らない情報があったりするのでとても役にたっています。
- 初めての大会、参加。私は仙台から来たものです。本当は仙台の方にお会いしたかったのですが、会えませんでした。又いつかあえる事楽しみに又参加します。



## 避難者交流、愛知全県から

### 137人、名古屋で励まし合う

東日本大震災と福島第一原発の事故で愛知県内に避難した人たちの交流会が25日、名古屋市中区の複合施設「アイリス愛知」で開かれた。これまでの交流会で最も多い57世帯137人が参加。まもなく1年になる

避難生活の悩みを語り合い、励まし合った。主催したのは、愛知県被災者支援センター。昨年6月の発足以来、県内各地で、交流会を20回以上開いてきたが、今回は「震災1周年を、次の一歩を踏み出

すきっかけにしてほしい」と、初めて県内全域の避難者を招待した。放射能の影響を心配し、福島県いわき市から一家5人で名古屋守山区に自主

避難している渡辺澄吉さん(36)は「初めて交流会に参加したのは自分だけではなかったと知り、勇気づけられた」と話していた。(黄徹)



多くの避難者が出席した大交流会。親子で参加する人も目立った=25日午後、名古屋市中区、黄徹撮影

## ふるさと交流会 @ あいち大学

2012年2月18日(土)14:00～16:30、東三河地域での2回目の交流会が、主催が愛知大学たすけあい部の学生、共催愛知県被災者支援センターで、愛知大学にて実施されました。主催者は5つの自治体(豊橋市、田原市、豊川市、新城市、蒲郡市)に依頼して、各自治体在住の



60世帯の避難者にチラシを配布しました。5市(東三河地域)から、8世帯15名の参加となりました。その内、3世帯は初参加の方々でした。

お話しはいつものようにすごく盛り上がり、避難した時のこと、今からの生活の不安などが語られました。愛知大学の教授や学生が傾聴役を担いました。最後に、昨年行ったイベントで集まった募金で用意したプレゼントを、参加者にお渡ししました。

### ◆アンケートより(困っていること)

- ・放射能の検査をどこですればいいのか判らない。
- ・友人がいないのが淋しいです。
- ・言葉の壁、方言。
- ・土地勘がないので四苦八苦しています。

---

## 第2回原発事故賠償説明・相談会

2012年2月19日(日)13:30から豊橋市民センターにて、東三河地域での「第2回原発事故賠償説明・相談会」が実施されました。初めに弁護団から「春になって一定の数が集まったら集団申し立てをしたい」との説明がありました。参加世帯は3世帯と多くなかったのですが、1家族ずつ弁護士が付いて丁寧な個別相談が行われました。

参加者からは、「東電から合意書が届いたが出していない。弁護士に見てもらっている」、「請求の書き方が難しい」、「精神的な苦痛をみてほ



しい」などの意見が出ました。相談後は交流を兼ねて話し合いがもたれ、「胸の内がすっきりした」、「自主避難者も苦勞している」、「話ができて良かった」との感想がありました。

## 知っ得!～地域情報～

### 「女性のための電話相談・ふくしま」開設

内閣府では、「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力(集中)相談事業」として、長引く避難生活や原子力発電所の事故に伴う不安や悩み、配偶者等からの暴力(DV)などの相談を受けるため、『女性のための電話相談・ふくしま』を開設いたしました。

- ・女性の相談員が、あなたのご相談をお受けします。
- ・電話相談は通話料無料のフリーダイヤルになっています。
- ・家族のこと、仕事のこと、子育てのこと、近

所づきあいのことなど、日常生活で抱える不安についてどんなことでも、まずはお話ししてみてください。秘密は守ります。

※福島県民のための電話相談です。

福島県から県外へ避難している方も対象となります。

TEL : 0120-207-440

(全国フリーダイヤル: 携帯電話も通話無料

・相談時間: 月～金 10時～17時(祝日を除く))

(福島県男女共同参画ホームページ)

[http://www.pref.fukushima.jp/danjo/jose\\_nayami\\_info.html](http://www.pref.fukushima.jp/danjo/jose_nayami_info.html)

## この春、新たに高校にご入学されるお子様のいる世帯の皆様へ

(授業料の減免制度について)

家庭の状況に関わらず全ての意志のある学生が安心して勉学に打ち込める社会をつくることを目的として、平成22年4月から、公立高校の授業料を無償にするとともに、国立・私立の高校に通う生徒に対しては、高等学校等支援金により家庭の教育費の負担を軽減する取組みがとられています。

このほか愛知県では、「災害救助法」が適用された市町村から避難され、公立高校の専攻科に通う生徒の授業料の免除措置を行っています。

また私立高校に通う場合でも、保護者の方が支払う授業料を減免する措置をとる設置者(学校)に対して県が補助する取組みを実施してい

ます。対象となる生徒の方は①「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」の特定被災区域にお住まいで家屋に相当の被害を受けた方や、②福島第一原子力発電所の事故に伴う警戒区域・計画的避難区域に住んでいた方、及び③緊急時避難準備区域又は屋内退避指示が出ていた区域にお住まいで市町村の判断で避難された方となります。

自分も授業料が無償(減免)になるのでは?と思われたら、ぜひ、この春から通われる学校に一度お尋ねになることをお勧めいたします。

(愛知県被災者受入対策プロジェクトチーム)

## 知っ得!

### 寄り添いホットライン愛知 電話相談スタッフを募集しています!

3/11～31まで、震災にあわれた方のお悩みをお電話で聴く、電話相談(厚生労働省委託事業)を開設します。震災によって起きた様々な悩みや辛いお気持ちを丁寧に聴くことで、電話をくださった方に少しでもお元気になっていただくこと、また抱えていらっしゃる課題の糸口を見出すこと、が目的です。只今、電話相談員としてお手伝いいただける方を募集しております。震災の経験をお持ちの皆様にお手伝い頂くことで、お電話をくださる方のお気持ちに深く寄り添った電話相談になることを期待しています。また電話相談は自信がない…という方でも、土地名や方言など現地情報の不足している私たちへのアドバイザーとして、

ご活躍いただくことも可能です。

なお、電話相談員・アドバイザーには、些少ですが謝金が支払われます。ぜひお力をお借りしたく、応募をおまちしております。

募集期限：3月25日(日)まで

〈事務所〉

名古屋市中村区 10時～22時で毎日開設。

〈問合わせ〉

寄り添いホットライン愛知 副代表 渡辺まで

TEL：080-5111-3937

E-mail：kp@grassroots.jp.com

## 行っ得!～イベント情報～

### 第3回交流会 in 弥富

泣こう!笑おう!支えあおう!

日時：3月25日(日)懇談10:00～12:00

相談会13:00～15:00

場所：弥富市総合福祉センター研修室

申込：お電話、FAXまたはEメールにて、愛知県被災者支援センターまでお申込み下さい。

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

E-mail：mousikomi@aichi-shien.net

(月～金(祝日除)10:00～17:00)